

新川口市の

力強い出発を

市長 岡村 幸四郎



新年明けましておめでとうございます。市民の皆様には、平成24年の清々しい新春をお健やかに迎えのことと、心からお慶びを申し上げます。

昨年は多事多難な1年でした。とりわけ原発事故をも引き起こした東日本大震災は、大きな犠牲と多くの教訓をもたらしました。本市でも避難所に多くのボランティアと物資が集まり、1億2千万円を超える義援金が寄せられるなど、支援の輪が広がりました。しかし、復興にはまだまだ時間がかかります。被災地へのご支援をこれからもよろしくお願い申し上げます。また、原発事故による放射能汚染へは、全国に先駆け6月に大気中の放射線量の基準値を定め、11月には給食食材の測定

を開始するとともに除染等の方針を整えるなど、子どもたちの健康を第一に対応して参りました。さらに平成18年のあの悲惨な交通事故以来、積年の課題でありました、全国初の面的規制を含めた生活道路最高速度30キロ規制を、川口警察署管内で実施いたしました。そしてなによりも、10月11日、鳩ヶ谷市との合併が成就し、新川口市としてスタートを切ることができました。

市を貫く、江戸時代の非常に重要な道である「日光御成道」を歴史的に検証し、將軍日光社参行列の再現も視野に入れた検討を進めるとともに、神根・赤山地域の豊かな歴史と自然を活用した(仮称)赤山歴史自然公園等の具体化を進めて参ります。さらに、市民の皆様の多様な価値観を市政に反映させる「市民投票条例」の制定に向けた準備を進めるなど、住んでよかった、そして合併してよかったと思っていただけまちづくり

に、今年も全力を傾注して参りますので、何卒よろしくお願いを申し上げます。

結びに、どうか新しい年が、市民の皆様にとりまして、希望に満ちた輝かしい年となりますよう心から祈念申し上げます。

希望に満ちた一年を

議長 篠田 文男



新年あけましておめでとうございます。市民の皆様におかれましては、希望に満ちた新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年を振り返りますと、3月11日に史上例をみぬ甚大な被害をもたらした東日本大震災、これに加え東京電力福島第一原子力発電所の事故による放射線の飛散など、今までに経験したことのない見えない恐怖が、今も市民に不安を与え続けています。

余震も収まらぬ4月には、統一地方選挙が実施され40名の議員が当選、5月の臨時会で正副議長を選出し、新体制でスタートを切りました。

また、6月定例会では、東日本大震災の教訓から危機管理の重要性を認識

し、「危機管理対策・庁舎整備等特別委員会」を、少子高齢化社会への対応教育問題の解決に向け「生活福祉・教育問題特別委員会」を、産業の活性化や環境対策のため「地域活性化・環境対策特別委員会」を設置し、行政が抱える諸問題について審議しています。

さらに、議会運営に関しては、議会改革推進委員会を設置し、多くの諸課題に対して改善を重ね、市民の皆様

に信頼される開かれた議会の実現に向けて積極的に取り組むことといたしました。また、念願であった鳩ヶ谷市との合併が10月11日に成就し、鳩ヶ谷区域から新たな5名の議員を迎え、新川口市の議員は45名となりました。

現在、地方自治体には、多様化する

市民ニーズへの対応や地方分権の進展に伴い、地方の自主・自立した行財政運営が求められており、私たちを取り巻く社会情勢は、大きな転換期を迎えています。市議会といたしましては、このような諸課題の解決に向け、広域的な視点に立ち、「最小の経費で、最大の効果、最大の満足」を念頭におき、優しさと安らぎのある安全・安心な街づくりを目指し努力して参ります。

結びに、今年の干支「辰」は十二支の中で唯一、夢(架空)の動物です。皆様にとりまして、新しい年が新たな大きな夢に向かい、希望の光が芽生える素晴らしい年となりますよう心から祈念申し上げます、新年のあいさつといたします。